

群馬県を代表する弥生土器を3Dで見てもみませんか？

群馬県では、保有する弥生土器30点の3Dデータ化に取り組み、普段見られない土器の裏側や内面、底部などを自由に、立体的に観察できるようにしました。昨年度の縄文土器と合わせて計60点になります。今回の弥生土器には英語のキャプションも用意しました。

今後、令和6年度までに100点の土器を3Dデータ化する予定です。

1. 3Dデータを見るには

以下のURLからご覧ください。無料で利用できます。

- ・アプリのダウンロードやアカウント登録は不要
- ・データ通信量が大きいためWi-Fi環境での利用を推奨

【URL】<https://sketchfab.com/gunmabunkazai>

【検索ワード】スケッチファブ (SketchFab) 群馬県埋蔵文化財調査センター

【QRコード】



2. 今回3D化した主な土器

- ・群馬と他地域の交流の様子がうかがえる弥生時代の土器を多数公開
- ・群馬の弥生時代の遺物の中でも珍しい「人形土器（ひとがたどき）」「人形容器（ひとがたようき）」を公開
- ・全国巡回展「発掘された日本列島2021」に選出された高崎競馬場遺跡（高崎市）の土器を公開



正面から



上から



下から

3D化した弥生土器（「人形土器」渋川市有馬遺跡出土）